

令和7年度第2回浜松市歯科保健推進会議 会議録

- 1 開催日時 令和8年2月26日(木) 午後1時30分から午後3時00分
- 2 開催場所 浜松市口腔保健医療センター 会議室A B
- 3 出席状況 出席委員 柴木 利明(会長)、相澤 秀夫、磯部 智明、
今泉 菜穂子、鈴木 一、高橋 久美子、吉川 和美
欠席委員 新井 恵美、石田 真規子、野寄 秀明
事務局 小笠原雅美健康増進課長、田辺雷太健康増進課長補佐、
伊藤梓口腔保健医療センター所長、藤田亮子口腔保健
医療センター主幹、川瀬真由口腔保健医療センター、
西崎公康健康医療課長、密岡宏行保健総務課長、柴田
多美子障害保健福祉課長、谷口弘記介護保険課長、鈴木
勝己国保年金課長、中村真康こども家庭部幼保運営
課長補佐、里見陽祐ウエルネス推進事業本部副本部長
- 4 傍聴者 0人
- 5 議事内容 (1) 令和7年度上半期歯科口腔保健事業実績
(2) 令和7年度幼児教育保育施設における歯科健康診断の結果
(3) 口腔保健支援センター関連事業実績
(4) 浜松市歯科口腔保健推進条例改正について
(5) 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組
(6) 歯科保健の推進に関する委員のご意見
(7) 令和8年度歯科保健事業計画
- 6 会議録作成者 健康増進課口腔保健医療センター 藤田亮子
- 7 記録の方法 発言者の要点記録
録音の有無 無
- 8 会議記録

定刻の午後1時30分に開会し、事務局から委員の出席数の報告、情報公開の確認、報道機関の取材と傍聴者に関して了承を得た。

(1) 令和7年度上半期歯科口腔保健事業実績

(事務局)

令和7年度上半期歯科口腔保健事業実績について説明を行った。

(2) 令和7年度幼児教育保育施設における歯科健康診断の結果

(事務局)

令和7年度幼児教育保育施設における歯科健康診断の結果について説明を行った。

歯磨きを実施する園は11.2%の減となっているが、考えられることがあれば教えてほしい。

(委員)

歯ブラシの衛生的な管理が難しいということ、園児が歯ブラシを口の中に入れたまま動き回ると重大事故につながる危険性があるが、安全確保に必要な人員配置が各園で困難であるということが考えられる。

(3) 口腔保健支援センター関連事業実績

(事務局)

口腔保健支援センター関連事業実績について説明を行った。

(委員)

⑧オーラルフレイル予防教室のトライアル実施について、参加者アンケートは取っているか。また、天竜区以外での実施は考えているか。

(事務局)

アンケート調査は全2回のうちの2回目に行う予定である。今回のトライアルは、天竜区独自で実施している運動教室に参加された方を対象に行った。将来的に可能であれば、他地域での実施や、オーラルフレイル予防教室単独での実施を検討していきたい。

(委員)

⑩カムカム健康プログラムの協力について、私が所属する団体で行ったアンケートにおいてカムカム健康プログラムが非常に好評であったが、令和8年度以降に実施予定はあるか。

(事務局)

本事業については補助金を活用して実施したが、来年度以降は、その補助がないため市民に対する取組みについては継続が困難である。今後は職域を通じて、企業の取組みとして継続することを検討している。

(委員)

⑫中学校での職業講話について、職員の体制や学校について教えてほしい。

(事務局)

令和7年度が2回目となる取組みで、中学校1校に歯科医師と歯科衛生士の2名で訪問した。他校でも機会があれば実施したいと考えている。

(委員)

歯科衛生士や歯科技工士の人材不足など、歯科関係職種の課題が懸念されている。学校と協力体制を構築し、歯科関係分野への関心を高める取組みを要望する。

(4) 浜松市歯科口腔保健推進条例改正について

(事務局)

浜松市歯科口腔保健推進条例の一部改正について説明を行った。

(5) 歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組

(事務局)

歯科口腔保健推進に関する浜松市の取組について説明を行った。

(委員)

補足をすると小学校8校で実施した歯科保健教育では、4年生5年生350人ほどを対象にアンケートを実施した。半数近くの児童が、症状がなければ定期的に歯科医院に通う必要がない、歯周病予防は歯磨きだけでよいといった意識であることがわかり、低年齢からの教育の重要性が明らかになったと考えている。

(委員)

参加した児童は、痛みがなくても定期的な受診をすることが大切だということを認識していただいたと感じている。この活動について、歯科医師会としても協力していく考えであるため、市として積極的に広めていく方向性を持っていただきたい。

(事務局)

私達も若い世代からの健康教育が重要と考えている。学齢期の健康教育も実際に増えてきている状況がある。歯科医師会の先生方と基本的には同じところを目指しているため、適切に連携をとりながら進めていきたい。

(委員)

コロナ禍以降、歯科訪問診査については利用者が減った状態が続いている。今後の取組みとして掲げる周知の方法については、具体的にどのようなものを検討しているか。

(事務局)

周知ができる場所があれば積極的な周知を行っていききたいと考えている

(委員)

例えば、在宅への移行が予定されている入院患者などに対し、病院の相談室等を活用して積極的に訪問診査の利用を勧奨する仕組みの構築なども考えられる。

(事務局)

一部の病院において既に同様の取組みが行われていることを認識しているが、全体的な実施状況については把握していない。今後、これらの事例を参考にしながら取組みを進めていく。

(6) 歯科保健の推進に関する委員のご意見

各委員から上半期実績と令和8年度取組み予定について説明した。

(委員) ケアマネ事業所・介護サービス事業所向けにパンフレット等を同報メールでお知らせ発信をしたり、集合型の研修の際に直接配布することも可能。また、訪問歯科診査・訪問歯科診療、歯科医師への相談・連携など、ケアマネや介護サービス事業所向けに説明の機会が欲しい。

(事務局)

ケアマネ向けの説明会等については、依頼をいただくことで実施が可能である。また、通所サービス事業所向けとなるが、市の事業について説明を行うこともできる。

(委員)

成人期の保護者を対象とした歯周病についてのわかりやすい講座の実施や出前講座などの企画があるか。

(事務局)

障がいのある成人期の保護者向けの歯周病に関するわかりやすい講座については、健康教育を申込むことで開催することができる

(委員)

協会けんぽ静岡支部では加入者・事業所担当者向けのメールマガジンや、LINE 公式アカウントを運用しており、自治体で実施するイベント等の広報について協力が可能。要望がある場合はご相談して欲しい。

(委員)

園児の口腔機能低下が多くの保育園で課題となっており、口腔機能の発達が十分でない園児が増加している。各園では園児の身体全体の発達を促しながら丁寧に対応するとともに、保護者への啓発を進めていく必要がある。

(7) 令和8年度歯科保健事業計画

(事務局)

令和8年度歯科保健事業計画について説明を行った。